袈裟丸山山行報告書

（山域）　足尾山塊：袈裟丸山
（コース）
　折場登山口～賽の河原～小丸山～前袈裟丸山～小丸山～賽の河原～折場登山口
（日時）　５月２０（土曜日）
（天候）　晴れ後（微風）
（参加者）ＣＬ：内堀（記録）・ＳＬ：澤田淳・小宮山
（山行タイム）
　登山口 8:00～賽の河原 8:50～小丸山 9:50～前袈裟丸山 10:48～登山口 13:35
（山行報告）
　3:00 前に起床して 3:15 頃に自宅を出発して、澤田宅→小宮山宅を経由して首都高に乗る。意外と高速に車は多い。湾岸線より葛西ＪＣＴから東北道に向かう途中、朝焼けが綺麗に見え、久々大きい太陽であった。本来なら白馬岳日帰り山行であったが、業務多忙の折、前夜発を諦め日帰り移動で行ける場所を探したところ、アカヤシオ満開情報があり袈裟丸山に変更した。車は順調に進み東北道から北関東道に進め、太田桐生ＩＣを降りてコンビニで行動食を買い出しして、一路、渡良瀬渓谷に向かう。意外と遠く信号も多く進まなかったが、大間々を過ぎた辺りから信号も無くなり、車も減り順調に進む。草木湖が見えその先に袈裟丸山登山口の看板があり、左折して進む。その先は一気に高度を稼ぎながら進め折場登山口に到着する。既に 30 台以上の車が駐車しており、登山口付近には駐車できず、手前の路肩に駐車する。袈裟丸山がこんなに人気の山である事を初めて知った。やはり、この時期はアカヤシオを見るためなのか？　中年グループが多い気がする。出発準備を済ませ登山口の東屋で朝食を食べる。朝食中もひっきりなしに車が次々と来ている。そんなに人気の山なのか？　初めてで良く判らない。朝食後、登山道に向かい出発する。登り始め中々、アカヤシオを見えない為、今回は「やっちまった」と思い、トボトボ歩き、左が切れ落ちている稜線に出る。気持ちの良い景色に癒され、このまま終わるのかと思いきや、賽の河原に到着した頃には、アカヤシオが咲いていた。花が落ちもうすぐ終わりそうである。
賽の河原で袈裟丸山の由来の看板があった。この周辺に高野山を開こうとして、進めてきたが、赤城山は神の山のため諦め、この山にしたいと思ったが、諦める際に袈裟を丸めたとの由来があった。「袈裟とは僧侶が身に着ける布である。」
賽の河原からはアカヤシオが咲き乱れ、登るにつれピンクの色がドンドン強くなり、小丸山周辺ではこれから見ごろと思われる咲きっぷりであった.先週の雨を考えると今週が一番の見ごろであると思われた。小丸山山頂では多くの人達が花を見て楽しいでいた。かなりの人達が小丸山でおしまいで、袈裟丸山には行かない様であった。ここまでが見頃かな。
休憩後は、一旦下降して小さい避難小屋を過ぎ、少しずつ急登になり、あっと言う間に前袈裟丸山に到着する。やはり、丸山から袈裟丸山までは花が見えずただひたすら歩くのみであった。小丸山までしか行かない人も多い事が頷けた。袈裟丸山山頂はかなりの人で賑わっていた。遠くを見ると日光白根山、至仏山、上州武尊山が雪をかぶり美しく見えていた。この時期でも至仏山の雪は相当多い事が見て分かった。休憩後は下山を開始するも、急坂で渋滞にハマり、ツアー客と思われる方々が譲って頂き、先行出来スムーズに進む。途中、丸山・賽の河原を経て、折場登山口に到着する。予測時間より 1 時間程度早く下山が出来たため、登山口で軽い昼食を取り、車の場所まで戻り、温泉を目指す。車のワイパーにあった、水沼温泉センターをめざし草木湖まで一気降りて、水沼駅の中にある温泉センターで汗を流す。割引券が入っていたため、400 円/人であった。この日、温度が高く長湯が出来ず女性陣含め早目に上がった。帰りは、道の駅「くろほね・やまびこ」で地の物（山菜）を購入して、来た道を進み渋滞もなく、帰葉した。
アカヤシオを調べたら、ヤシオツツジであり、栃木県の県花になっていた。赤城山・袈裟丸山に沢山自生している。アカヤシオの後はシロヤシオが咲き乱れるとの事。同時に見られると良い事があると伝えられている。久々のお花見山行であった。

入 駅
10.4km

経塚丸山

以上